

公益社団法人 日本てんかん協会

2015(平成27)年度会計報告書概要(2015年4月1日～2016年3月31日)

1. 本法人の会計は、一般会計と3つの特別会計（出版部会計、災害支援会計、支部会計）により構成しています。公益社団法人に移行後、支部活動を含むすべての事業を公益事業として、法人会計に総括をして表示します（公益事業支出の割合は、99.8%です）。法人の財務状況は、公益法人会計基準にのっとり、①正味財産増減計算書(明細)、②貸借対照表、③財産目録、以上3つの財務諸表に注記事項を加えて表記しています。

しかし、当面の間はこれまでどおりに会計ごとの財務諸表、①正味財産増減計算書(フロー式)、②貸借対照表、③財産目録に加え、一般会員にとって一番馴染み深い④収支計算報告書も、参考資料として表示いたします。

2. 今年度は、法人全体の総収入額が約 19,636 万円、総支出額が約 12,869 万円です。これにより、次期繰越金額は約 6,767 万円となります。

各会計別の収支を見てみると、一般会計が約 415 万円の収入超過となりましたが、出版会計が約 28 万円、支部会計が約 656 万円の支出超過となり、これら合計額(269 万円)が今期首に繰り越された額から減算されます。

なお、支部会計については、前年度までの資金をより有効に活用し、必要な事業に積極的に取り組み内部留保を減らした結果であり、公益社団法人の本来の目的に叶った取り組みによるものです。このことは、法人全体として次年度の活動に対して、約 6,408 万円の資金を残していることにも表れています。

また、今期末における法人全体の正味財産額は約 8,827 万円であり、この中には、基本財産・1,000 万円、運動推進資産・約 1,060 万円を含んでいます。

3. 支部会計も法人会計の一部として組み込み、連結した決算を行っていますが、未だ本部の会計基準との整合性がとれていないなどの課題を残しています。これらについては、引き続き課題解決に向けた取り組みを進めます。また、財政の安定化と税務対応についても、引き続き会計士法人等の意見を伺いながら、理事会として重点的に取り組んで参ります。

●公益社団法人日本てんかん協会●

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日から平成 28年 3月 31日まで

[単位:円]

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,532	2,627	△ 95
運動推進資産運用益	3,290	3,829	△ 539
受取入会金	461,800	557,500	△ 95,700
受取会費	30,243,400	30,603,900	△ 360,500
事業収益	14,896,527	18,648,285	△ 3,751,758
受取補助金等	22,472,861	27,669,767	△ 5,196,906
受取負担金	13,291,734	8,395,781	4,895,953
受取寄附金	8,475,541	32,620,313	△ 24,144,772
受取協賛金	14,497,860	10,960,986	3,536,874
雑収益	2,514,381	1,488,388	1,025,993
経常収益計	106,859,926	130,951,376	△ 24,091,450
(2) 経常費用			
事業費	121,496,612	126,893,501	△ 5,396,889
管理費	195,014	196,180	△ 1,166
経常費用計	121,691,626	127,089,681	△ 5,398,055
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,831,700	3,861,695	△ 18,693,395
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,831,700	3,861,695	△ 18,693,395
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 14,831,700	3,861,695	△ 18,693,395
一般正味財産期首残高	103,106,392	99,244,697	3,861,695
一般正味財産期末残高	88,274,692	103,106,392	△ 14,831,700
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	88,274,692	103,106,392	△ 14,831,700

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	80,954,298	79,957,700	996,598
未収金	3,927,385	6,073,315	△ 2,145,930
前払金	316,693	254,460	62,233
立替金	182,825	432,864	△ 250,039
商品	4,881,139	4,831,928	49,211
貯蔵品	30,959	20,627	10,332
流動資産合計	90,293,299	91,570,894	△ 1,277,595
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(信託銀行)	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	0	0	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
情報誌刊行事業資産	0	3,861,695	△ 3,861,695
特定資産合計	0	3,861,695	△ 3,861,695
(3) その他の固定資産			
運動推進資産(定期預金)	10,604,195	18,881,707	△ 8,277,512
その他の固定資産合計	10,604,195	18,881,707	△ 8,277,512
固定資産合計	20,604,195	32,743,402	△ 12,139,207
資産合計	110,897,494	124,314,296	△ 13,416,802
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,868,231	1,008,783	1,859,448
前受会費	19,004,600	19,439,700	△ 435,100
前受金	206,000	200,000	6,000
預り金	543,971	552,421	△ 8,450
仮受金	0	7,000	△ 7,000
流動負債合計	22,622,802	21,207,904	1,414,898
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	22,622,802	21,207,904	1,414,898
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	88,274,692	103,106,392	△ 14,831,700
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち情報誌刊行資産への充当額)	0	(3,861,695)	(3,861,695)
(うち運動推進資金への充当額)	(10,604,195)	(18,881,707)	(8,277,512)
正味財産合計	88,274,692	103,106,392	△ 14,831,700
負債及び正味財産合計	110,897,494	124,314,296	△ 13,416,802

●公益社団法人日本てんかん協会●

財産目録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科目		場所・物量等		使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として		466,192	
	普通預金	みずほ銀行・早稲田支店 みずほ銀行・大塚支店 三井住友信託銀行・本店営業部 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店 りそな銀行・早稲田支店 巢鴨信用金庫・大塚支店 その他銀行 振替貯金	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 JKA補助金、他 基礎講座会場費、他 MOSES基金 書籍 切手		451,074 810,483 253,287 13,300,720 106,275 52,041 63,528,405 1,985,821 3,927,385 316,693 182,825 4,881,139 30,959	
	未収金					
	前払金					
	立替金					
	商品					
	貯蔵品					
	流動資産合計					90,293,299
	(固定資産)					
	基本財産	定期預金	三井住友信託銀行・本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用		10,000,000
運動推進資産	定期預金	三井住友信託銀行・本店営業部 りそな銀行・早稲田支店 みずほ銀行・早稲田支店	てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用		106,208 5,000,000 5,497,987	
	固定資産合計					20,604,195
	資産合計					110,897,494
(流動負債)						
	未払金	あ一す、他 平成28年度広告協賛金、他 平成28年度会費 給与源泉税、住民税、他			2,868,231	
	前受金				206,000	
	前受会費				19,004,600	
	預り金				543,971	
流動負債合計					22,622,802	
負債合計					22,622,802	
正味財産					88,274,692	

注 記 事 項

1. 継続事業の前提に関する注記

…… 該当なし。

2. 重要な会計方針

1). 棚卸資産の評価基準および評価方法 …… 最終仕入原価法を採用している。

2). 消費税の会計処理 …… 税込方式を採用している。

3. 会計方針の変更

…… 該当なし。

4. 公益目的保有財産の増減額および残高、財源等

……基本財産及び特定資産の増減及びその残高、財源等は、次のとおりである。

1). 基本財産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2015. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2016. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	10, 000, 000	0	0	10, 000, 000	10, 000, 000
合 計	10, 000, 000	0	0	10, 000, 000	10, 000, 000

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

2). 情報誌の刊行及び取扱い事業資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2015. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2016. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
普通預金	3, 861, 695	0	3, 861, 695	0	0
合 計	3, 861, 695	0	3, 861, 695	0	0

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

3). てんかん運動推進資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2015. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2016. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	18, 881, 707	7, 001, 823	15, 279, 335	10, 604, 195	10, 604, 195
合 計	18, 881, 707	7, 001, 823	15, 279, 335	10, 694, 195	10, 604, 195

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

5. 担保に供している資産

…… 該当なし。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

…… 該当なし。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

…… 該当なし。

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

…… 該当なし。

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

…… 該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

…… 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高 (2015. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2016. 03. 31)	貸借対照表上の記載区分
補助金 民間補助金	J K A	0	4, 803, 000	4, 803, 000	0	記載なし
	(福) 全国心身障害児 福祉財団	0	795, 407	795, 407	0	記載なし
	丸紅基金	0	1, 830, 000	1, 830, 000	0	記載なし
地方自治体	地方自治体	0	15, 031, 274	15, 031, 274	0	記載なし
助成金 民間助成金	ソウエルクラブ	0	13, 180	13, 180	0	記載なし
合 計		0	7, 441, 587	7, 441, 587	0	

11. 基金および代替基金の増減およびその残高

…… 該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

…… 該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

…… 該当なし。

14. キャッシュフロー計算書の資金の範囲および重要な非資金取引

…… キャッシュフロー計算書は、作成しておりません。

15. 重要な後発事象

…… 該当なし。

16. その他

…… 該当なし。

監査報告書

私たち監事は、公益社団法人日本てんかん協会の2015(平成27)年度(2015年4月1日～2016年3月31日)の理事の職務執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および使用人(事務局)等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を基に、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその付属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ①事業報告は、法令および定款にしたがい、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は、認められません。
- (2) 計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録の監査結果
 - ①計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。
 - ②当該年度の支出が公益目的事業に使用されていることを、確認しました。

2016年5月26日

公益社団法人 日本てんかん協会

監事 山内俊雄 

監事 鈴木勇二 